

平成 2 5 年定例会
防災県土整備企業常任委員会
提 出 資 料

- 所管事項
 - I 平成 2 5 年度上半期の各事業の運営状況について..... 1

 - II 青田発電所の災害復旧状況について..... 3

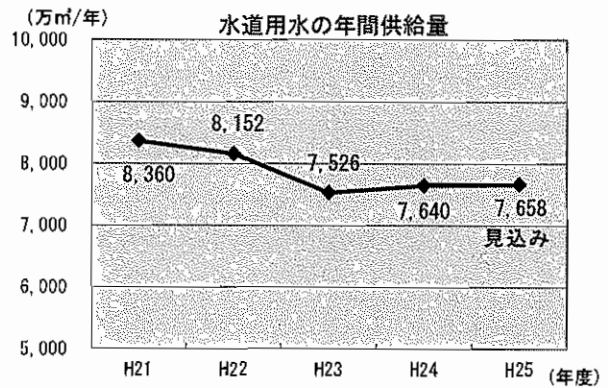
平成 2 5 年 1 0 月 8 日
企 業 庁

I 平成25年度上半期の各事業の運営状況について

平成25年度上半期（平成25年4～9月）における水道、工業用水道、電気の各事業の運営状況については、概ね以下のとおりです。

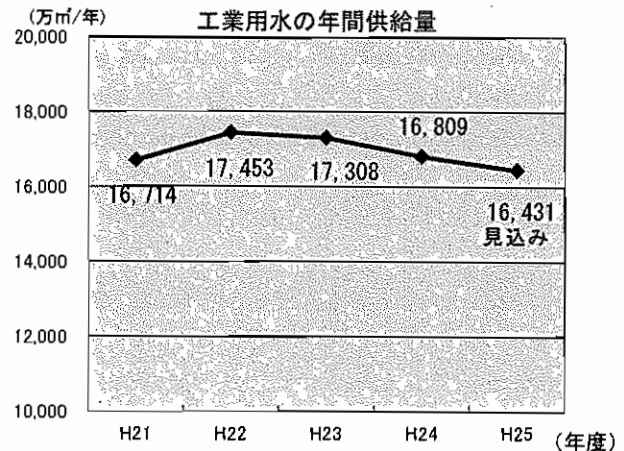
1 水道事業（県内29市町のうち17市町に供給）

平成25年度上半期の水道用水の供給量は、3,935万 m^3 となっており、ユーザーへの供給量に大きな変化はなく、平成25年度年間供給量の見込みについては、昨年度と同水準（約7,658万 m^3 ）と予測しています。



2 工業用水道事業（県内の95社107工場に供給）

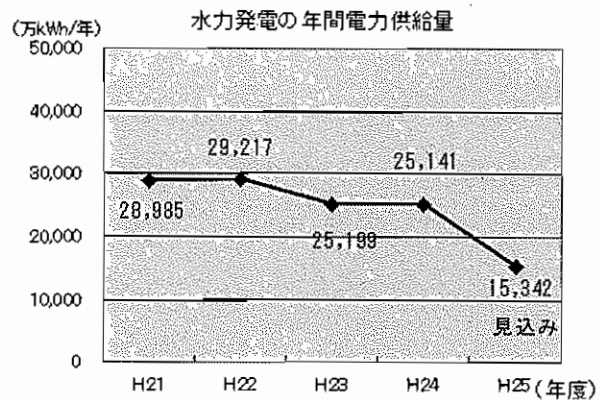
平成25年度上半期の工業用水の供給量は、8,601万 m^3 となっており、ユーザーへの供給量はやや減少し、平成25年度年間供給量の見込みについては、昨年度をやや下回る水準（約1億6,431万 m^3 ）と予測しています。



3 電気事業

(1) 水力発電（8発電所）

平成25年度上半期の水力発電による電力供給量は、8,386万kWhとなっており、4月～5月、7月～8月の降雨量が少なかったこと及び平成25年4月1日に青蓮寺、比奈知の2発電所を中部電力㈱に譲渡したことから、昨年度に比べて49.8%の減となっています。

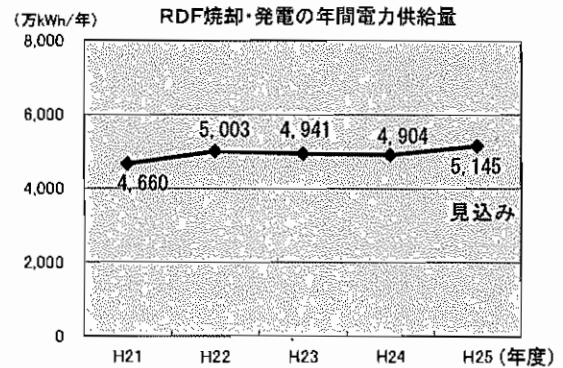


平成25年度年間供給量の見込みについては、昨年度に比べて約39.0%減（約1億5,342万kWh）と予測しています。

(2) RDF焼却・発電（県内7施設14市町のRDFを受け入れ）

平成25年度上半期のRDF焼却・発電による電力供給量は、昨年度比5.3%増のRDFを受け入れ、昨年度比15.1%増の2,787万kWhとなっています。

平成25年度年間供給量の見込みについては、年間のRDF搬入量を昨年度比2.2%増と見込み、昨年度比4.9%増（約5,145万kWh）と予測しています。



【平成24、25年度上半期の水道、工水、電気各事業の供給実績】

事業	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 (4~9月)
水道事業 (万m ³)	24	593	598	618	617	704	687	3,816
	25	619	569	692	716	656	682	3,935
	対前年比	104.4%	95.2%	112.0%	116.0%	93.2%	99.3%	103.1%
工業用水道事業 (万m ³)	24	1,336	1,461	1,466	1,580	1,565	1,521	8,929
	25	1,301	1,388	1,326	1,508	1,643	1,435	8,601
	対前年比	97.4%	95.0%	90.5%	95.5%	104.9%	94.3%	96.3%
電気事業(水力) (万kWh)	24	2,058	2,746	2,730	3,529	2,935	2,708	16,706
	25	1,567	697	2,451	1,559	536	1,576	8,386
	対前年比	76.1%	25.4%	89.8%	44.2%	18.3%	58.2%	50.2%
電気事業(RDF) (万kWh)	24	367	405	433	414	472	330	2,421
	25	454	553	352	552	458	418	2,787
	対前年比	123.7%	136.5%	81.3%	133.3%	97.0%	126.9%	115.1%

※平成25年9月実績は速報値です。

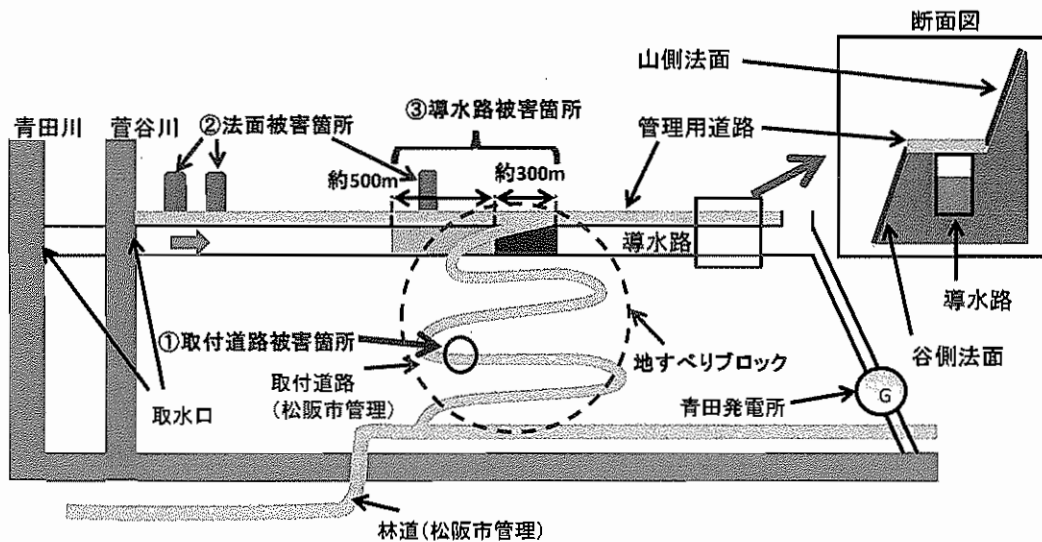
※四捨五入のため合計が合わない場合があります。

II おおだ 青田発電所の災害復旧状況について

青田発電所は、紀伊半島大水害（平成23年台風12号）で導水路等が大きく被災しました。

1 被害状況

被害箇所	被害状況
①取付道路	・降雨による地すべりのため、導水路敷への取付道路の一部において、路肩（谷側法面）が崩落
②法面	・導水路山側の法面が3箇所崩落
③導水路	・導水路への取付道路終端付近から上流約300m間において、導水路が最大70cm沈下 ・沈下損傷箇所のさらに上流約500m間において、導水路継目等が損傷



【①取付道路被害箇所】



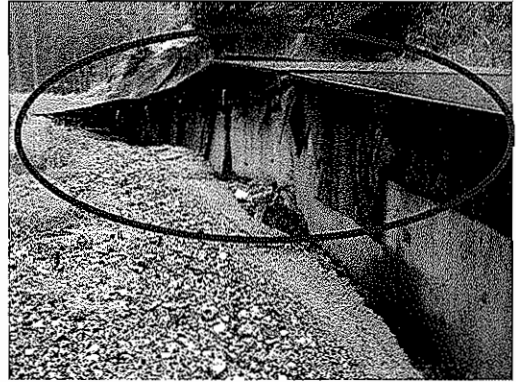
【①取付道路復旧（H25.3完成）】



【②法面被害箇所】



【③導水路被害箇所】



2 対応状況

(1) 復旧方法

被害箇所	復旧方法
①取付道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導水路復旧に必要な工事用道路として、谷側法面崩落部を含め、取付道路を復旧する。(H25.3 完成) ・ 取付道路や沈下した導水路付近は地すべりブロック上にあることから、地すべり抑制のための対策（集水井工、横ボーリング工）を実施する。
②法面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 崩土除去及び法面保護対策（法枠工、鉄筋挿入工）を実施する。
③導水路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沈下した導水路は取り壊し、現場打ちコンクリートで原形復旧する。 ・ 継目の損傷箇所の補修（止水ゴムシート設置等）を実施する。

(2) 復旧費用

約 5.4 億円（予定）

- ①取付道路 : 約 1.2 億円
- ②法面 : 約 1.4 億円
- ③導水路 : 約 1.6 億円
- ④地質調査等 : 約 1.2 億円

(3) スケジュール

	H24	H25	H26
取付道路復旧工事	→		
地質調査、地すべり調査	→		
地すべり箇所変位観測	→	→	→
地すべり対策工事		→	
法面復旧工事		→	
導水路復旧工事			→
通水・営業運転			→

3 今後の対応

平成27年4月1日の青田発電所の中部電力㈱への譲渡に向けて、適切に工程管理を行い、復旧工事を進めます。

(位置図)

